

4. 事業実施の課題

新総合体育館を整備するにあたり、課題となる事項を6つの項目に沿って整理します。
これらは、基本計画にて、具体的な対応を検討します。

○敷地の選定

- ・施設整備エリア（各務山の前町地区）における土地利用上の課題の抽出（法的規制の把握、水路等インフラへの対応、建物補償等）
- ・施設整備エリア（各務山の前町地区）の土地利用上の課題及び周辺のスポーツ施設等との連携を踏まえた敷地選定の検討

○施設計画・運営に係る検討

- ・敷地設定後の施設構成の再検討
- ・会議室や控室等の諸室の効率的な運用を前提とした床面積の設定
- ・来館者、選手・演者、運営スタッフ、メディアなど関係者の動線を配慮した施設設定
- ・ランニングコストの削減と自主事業等による収入増の工夫等財政負担抑制の検討（自律的な経営を目指した「稼げる施設」「選ばれる施設」としてのあり方）
- ・民間事業者ヒアリングから需要、規模等を把握

○駐車場のあり方

- ・アクセス道路の交通分担等を踏まえた現実的な必要台数の把握
- ・駐車場のシステム化等、周辺地域の駐車場との連携方策
- ・誘致する大会等の検討を踏まえた利用者数の想定と必要駐車場台数の検討

○事業手法

- ・民間事業者等へのヒアリングを通じた、事業方式の精緻化（事業スキームの具体検討）
- ・民間ノウハウの活用検討（公共と民間の役割・リスク分担の検討）
- ・事業手法の設定

○財源の確保

- ・補助金及び交付金等の活用検討

○まちづくりの視点

- ・施設単体でなく、地域全体で経済効果を享受し、活性化していくための取組みや周辺施設との連携方法の検討
- ・住民合意の形成
- ・体育館を直接利用しない市民でも、利用でき、スポーツに親しむ機会を創出するために、体育館の外構についても公園やエクストリームパーク等の整備を検討